

FRIENDSHIP NETWORK

vol.162

2024



写真の関連記事は Activity 1 をご覧ください。

Activity 1 東日本旅客鉄道(株) 東京新幹線運輸区・東京新幹線車両センター見学

9月8日(金)、JR東日本東京新幹線運輸区・東京新幹線車両センターの見学を実施し、社員寮入居留学生14名が参加しました。午前中は、東京駅構内の新幹線運輸区で新幹線運行について説明を受けた後、体験コーナーで運転シミュレータ、車掌業務、起床装置などを体験しました。その後、東京都北区にある新幹線車両センターまで貸し切りの新幹線回送列車で移動。車両センターでは、会議室内に各駅の有名な駅弁をご用意いただき、ランチタイムを楽しみました。

午後は、車両センター内で整備作業を見学し、整備士の方々から新幹線の設備や点検について丁寧な説明を受けました。打音検査のデモンストレーションを見せていただいた後、留学生も実際に工具を手に取り、打音検査を体験しました。車両センターから東京駅までは、再び回送列車の新幹線に乗車、帰りは豪華なグランクラスの座席を利用させていただきました。参加した留学生からは、「新幹線の安全性や定時性が守られている舞台裏の見学ができて非常に貴重な経験となった」「一番印象に残っているのは運転シミュレータ体験で、操作は意外とシンプルでもスピード調整がとても難しかった」「起床装置はとても興味深く、授業に遅刻しないよう自宅にもほしいと思った」(東京新幹線運輸区)、「安全を最優先としながら定時運行を支える整備士に敬意を表したい」「普段、上半分しか見えない新幹線の全体を見ることができ、その大きさに驚いた」「JR東日本の見学を通じて、成熟した老舗企業の歴史を感じ、建物内は清潔で整然としていることや優れた技術力に感銘を受けた」(東京新幹線車両センター)、といった感想が寄せられ、とても有意義で貴重な体験となりました。



Activity 2 「日本企業と留学生が出会う」を開催

留学生が日本企業・産業への理解を深めることを目的とした、企業担当者による情報提供・留学生との交換の場であるプログラム「日本企業と留学生が出会う」をWeb会議で開催しました。今年度は社員寮入居留学生の所属大学へ協力を依頼し、今後社員寮に入居する可能性があり、日本企業への就職に関心の高い留学生も含め、延べ61名が出席しました。当協会事業をご支援いただいている企業から合計7社が参加、各企業の採用担当者からは「経営方針、事業活動、海外展開などの概要紹介」「採用の考え方」「インターンシップのスケジュール」などを説明いただき、その後質疑応答の時間をもちました。留学生からは、「どのような人材を求めているか」「留学生の採用実績は」「日本語能力はどの程度必要か」「留学生はどのような仕事につけるか」「母国への赴任の可能性はあるか」などの質問があり、関心の高さがうかがえました。

[参加企業：7社(開催順)、参加留学生(合計)：61名]
11月27日(月)：SAPジャパン(株)・山九(株)・日本航空(株)
11月29日(水)：(株)ノリタケカンパニーリミテド
12月1日(金)：ウシオ電機(株)
12月11日(月)：三菱商事(株)
12月13日(水)：大日精化工業(株)

Activity 3 本所防災館・首都圏外郭放水路見学

11月17日(金)、本所防災館の防災体験、首都圏外郭放水路の見学を実施し、社員寮入居留学生10名が参加しました。東京都墨田区の本所防災館では、震度7の地震体験、AEDの使い方、煙からの脱出、消火訓練などに参加し、留学生からは、「地震や火事があった時にどう行動すべきかを知り、この経験を上手く生かせば自分だけではなく他の人の命を助けることもできることを学びました」などの感想が寄せられました。午後は、埼玉県春日部市の首都圏外郭放水路を見学し、留学生からは「首都圏外郭放水路は、水害を軽減するための治水施設として世界的に有名です。遠くてなかなか行けなかったこともあり、今回の見学は非常に感動的でした。どのように稼働しているのか説明を受け、迫力のある写真も撮ることができ、楽しい経験となりました」という感想が寄せられました。



Activity 4

SAP ジャパン(株)「河川敷クリーンアップ活動ボランティア」と OBOG 交流会



10月21日(土)、SAP ジャパン(株) CSR チーム・Sustainability チームが認定 NPO 法人ハンズオン東京、NPO 法人荒川クリーンエイド・フォーラムと連携したボランティア活動「2023 ウォーターウェイ・クリーンアップ第2弾 東京会場」に社員寮入居留学生と OBOG 11 名が参加しました。人口の多い地域を流れる荒川には多くのゴミが流れつき、回収しなければ太平洋に流出してしまいます。誰でも参加できる環境への貢献活動として、チームで協力しながらゴミの種類や数量を確認し留学生にとって、社会的な責任を考える機会となりました。参加者からは、「荒川はきれいだと感じていましたが、わずか数十メートルの区間で、50 袋以上のゴミを拾ったことに驚きました。」「ゴミ拾い活動を通じて、私たちの地域社会への貢献を実感でき、環境への意識も高まりました。」「今後もこのような活動に積極的に参加したいと思います。」といった感想が寄せられました。河川敷クリーンアップ活動終了後は、レストランに移動して懇親会を開催し、社員寮入居留学生と OBOG の皆さんが交流するよい機会となりました。



Activity 5

出張授業を実施

足立区立千寿青葉中学校、江戸川区立葛西第三中学校で出張授業を行い、延べ 10 名の社員寮入居留学生が講師を務め、母国の紹介、日本と母国の違い、大学・大学院で研究している内容などを、写真や動画を使って紹介しました。講師留学生からは「人生で初めて先生らしく教壇に立ち講演することができ、夢が実現したような気がします。知的好奇心のある生徒たちは将来日本の未来を担うグローバル人材になれると確信しています」などの感想が寄せられました。



足立区立
千寿青葉中学校
11月1日(水) 実施
2年生 4クラス



江戸川区立
葛西第三中学校
11月28日(火) 実施
1年生 6クラス

Activity 6

大学担当者会議を開催

社員寮入居留学生が在籍する大学の担当者を集めた会議を 2 回開催しました。9月28日(木)は協会会議室にて対面開催、10月5日(木)は Web 会議にて開催し、合計 18 大学の担当者 26 名が出席しました。今年度は、独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部の太田隆文氏にご参加いただき、日本学生支援機構が推進する留学生支援事業の概要に加えて、日本留学海外拠点連携推進事業などについてもご説明いただきました。協会からは社員寮入居留学生向け各種プログラムの紹介や社員寮の現状について、各大学からは留学生受入れ状況、留学生支援に関する課題についての説明があった後、質疑を含めた情報共有と意見交換を行いました。大学担当者からは、「日頃他大学の留学生受入れ状況を知る機会が少ないので、非常によい機会となった」などの感想が寄せられました。

協会を訪問(含む Web)して下さった
社員寮入居留学生と O B ・ O G
劉偉新さん、許磊さん(Web)

Activity 7

忘年交流会を開催

社員寮入居留学生と OBOG の交流を目的とした忘年交流会を 12 月 21 日(木)に協会会議室で開催し、来賓を含め 25 人が参加しました。OB が司会進行を担当し、自己紹介や近況報告などで盛り上がった会場では会話が弾み、連絡先を交換するなど活発な交流が行われました。



Activity 8

卒業・修了記念交流会を開催

3月1日(金)、卒業・修了記念交流会を協会会議室で開催し、2024 年に卒業・修了予定の社員寮入居留学生 10 名と、横尾理事長、遠藤監事、協会関係者が参加しました。名古屋・大阪からも留学生が参加し、社員寮での思い出や今後の進路などが述べられ、和やかな交流会となりました。



Activity 9

社員寮生活セミナー、 退寮セミナーを開催

社員寮に入居間もない留学生を対象に生活セミナーを開催し、協会の紹介、社員寮生活の心得や注意点、今年度の社員寮入居留学生向けプログラムについて説明しました。また、卒業・修了などで社員寮を退寮する留学生を対象とした退寮セミナーを開催し、合計 29 名の留学生が参加しました。

Activity 10

第 2 回臨時理事会および 第 2 回通常理事会を開催

2023 年度第 2 回臨時理事会(書面決議)を開催し、「事務局長の任命について」、「寄附金に関する覚書の一部変更について」が原案通り承認され、専務理事の宍戸尚子氏が 12 月 8 日(金)事務局長に就任しました。

2023 年度第 2 回通常理事会を 3 月 13 日(水)に開催し、「2024 年度事業計画(案)」、「2024 年度収支予算(案)」、「2024 年度資金調達および設備投資の見込み(案)」について審議が行われ、原案どおり承認されました。

協会発行物 > 2023 年 11 月

・会報「FRIENDSHIP NETWORK」161 号